

「ENEOS わが家で創エネ」プロジェクトの発足について

記者各位

～家庭部門でのCO2削減にエネルギーシステムで貢献～
住宅用総合エネルギーシステムの開発・実証に着手

当社(社長:西尾 進路)は、このたび、環境性と快適性、経済性を兼ね備えた「住宅用総合エネルギーシステム」^{※1}の開発・実証に着手し、その事業化に向けて「ENEOS わが家で創エネ」プロジェクトを発足いたしましたので、お知らせいたします。

近年、地球環境問題への対応として家庭部門におけるCO2削減が喫緊の課題となっていますが、家庭におけるエネルギー使用パターンは、地域性、家族構成、ライフスタイルなどによって大きく異なります。

本プロジェクトは、こうした異なる使用環境に対応し、お客様ごとに最適な「住宅用総合エネルギーシステム」の開発・実証に取り組み、2010年度での商品化を目指すものです。

具体的には、住宅設計・エネルギー管理・エネルギー機器の各専門家の協力を得ながら、横浜市に建設する住宅に、(1)家庭用燃料電池システム「エネファーム」^{※2}、潜熱回収型石油給湯器「エコフィール」などの高効率石油・ガス機器、(2)太陽光発電、太陽熱温水器等の自然エネルギー機器、(3)住宅内のエネルギー機器や家電機器のエネルギー使用状況の見える化や制御を行う「HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)」等を設置し、使用環境に応じた各種エネルギー機器の効果的な組み合わせとその最適な利用方法(生活者の省エネ行動)を検証していきます。

この住宅では、高断熱・高气密化による住宅性能の向上、高効率石油・ガス機器の利用および生活者の省エネ行動の実践により、CO2排出量を1990年比50%削減^{※3}し、さらには太陽光発電等によるエネルギーの創出(創エネ)により実質的なカーボンフリー(CO2排出量ゼロ)を目指します。

なお、当社は本プロジェクトを構成するエネルギー機器に関して、2008年度中に三洋電機製 太陽光発電システムの試験販売を開始し、2009年度からはLPG、灯油、都市ガスを燃料とする家庭用燃料電池システム「エネファーム」の本格販売を開始いたします。

当社は、本プロジェクトを通じて家庭部門でのCO2排出量削減に住宅用総合エネルギーシステムで貢献してまいります。

以上

※1 住宅用総合エネルギーシステム:以下の機器を使用環境に応じて選択・組み合わせたシステムの当社呼称

化石エネルギー機器(燃料電池、高効率給湯器、床暖房等)、自然エネルギー機器(太陽光発電、太陽熱温水器等)、各種エネルギー機器の運転制御や状況確認を行う機器(HEMS)

※2 「エネファーム」および「ENE・FARM」は出願商標です

※3 50%削減:当社試算によるモデルケースでの比較。(年間約6トン/戸→約3トン/戸)

 新ENEOS わが家で創エネ プロジェクト (862.6KB)